

この授業は終了しました

授業資料ナビゲータ(PathFinder)

教養コア科目B（こころと発達）

平成23年度(2011) 授業コード:G14B09101

臨床教育学の課題

前期 火2 上杉賢士先生

キーワード： 不登校 いじめ 環境としての学校 臨床の知

←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

Japan Knowledge ジャパンナレッジ【学内限定】

→学内のPCからインターネットで使える百科事典です。『日本大百科全書』などの権威ある百科事典を引くことができます。上に挙げたキーワードで検索してみましょう。検索結果から、概要をつかみましょう。

新聞記事データベース：ヨミダス（読売新聞）、聞蔵II（朝日新聞）【学内限定】

→過去の新聞記事を検索できるデータベースは情報の宝庫です。

日本PBL研究所 (<http://www.pbl-japan.com/>)

→PBL（プロジェクト・ベース学習）を推進する研究所のホームページです。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

★のついている図書は、授業期間中（4月～8月）は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

■ 先生が推薦する参考文献

『臨床の知とは何か』（岩波新書 203）中村雄二郎著 岩波書店 1992

→シラバスにも紹介されています。ぜひ読んでください。

★【本館閲覧室4階小型 492/RIN】

『臨床の知』（中村雄二郎著作集 第2期2）中村雄二郎著 岩波書店 2000

→上記の『臨床の知とは何か』を第一部として、第二部「臨床の知・各論」では、その後書かれた論考を集めています。

★【本館閲覧室2階 121.6/NAK】

『“学校を休む”児童生徒の欠席と教員の休職』保坂亨 学事出版 2009

→本学教育学部教授保坂亨先生の本です。調査や事例を元にこの問題の現状を解説されています。

★【本館閲覧室3階 371.42/GAK】

『学びの情熱を呼び覚ますプロジェクト・ベース学習』ロナルド・J・ニューエル著；上杉賢士ほか監訳 学事出版 2004

→この授業の担当教員である上杉先生が訳された本です。

★【本館閲覧室3階 375.1/MAN】

『プロジェクト・ベース学習で育つ子どもたち：日米18人の学びの履歴』上杉賢士、市川洋子著 学事出版 2005

→この授業の担当教員である上杉先生の著作です。プロジェクト・ベース学習の日米の記録となっています。

★【本館閲覧室3階 375.1/PUR】

『プロジェクト・ベース学習の実践ガイド：「総合的な学習」を支援する教師のスキル』上杉賢士著 明治図書出版 2010

→この授業の担当教員である上杉先生の著作です。

★【本館閲覧室3階 375.1/PUR】

理解を深めるために、以下の資料も見てください。

すべて図書館にあります。いろいろな本を手にとって、興味を広げ理解を深めましょう。

■ 教育と臨床

『教育本44：転換期の教育を考える』佐藤学編 平凡社、2001

→プラトンなどの古典から現代の教育の課題まで、44冊の本を解説しています。それぞれの著作の影響や意義などを知ることができます。

【本館閲覧室3階 370/KYO】

